

基本評価シート
様式

(長野県)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	令和5年度奥地等シカ捕獲推進業務		
	令和5年度ニホンジカ生息状況調査業務		
都道府県名	長野県	担当者部・係名	林務部 森林づくり推進課 鳥獣対策係
担当者名	浦野 陽平	担当者連絡先	026-235-7273
捕獲実施事業者	合同会社すわこ (認定を受けている)	予算額（※2）	7,227,000 円
		予算額の内捕獲に 要する経費（※3）	1,880,000 円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和5年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
50 頭	71 頭	142%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数 (R1)	特定計画捕獲目標 (R4)	目標生息頭数
124,406～352,803 頭	40,000 頭	—
狩猟捕獲数 (R4)	許可捕獲 (R4)	計 (R4)
4,144 頭	25,162 頭	29,306 頭

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

県単事業としての捕獲に対する補助

2. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>記述欄：特定計画では、従来の捕獲体制のみでは更なる捕獲促進を図ることは困難であることから、国又は県が主体となり、高度な知識と捕獲技術を有し、実施地域の利害関係者と協調できる認定鳥獣捕獲等事業者等を活用しながら、捕獲を推進することとしている。</p> <p>そのため、市町村による許可捕獲が困難な高標高地域において、県が指定管理鳥獣捕獲等事業を実施する。</p> <p>※特定計画の中での指定管理鳥獣捕獲等事業の位置づけも記載する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<p><input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。</p>
実施期間	<p>令和5年7月4日～令和5年12月15日 （うち捕獲期間7月29日～10月31日）</p>
実施区域	<p>八ヶ岳区域（諏訪市四賀霧ヶ峰）</p> <p>・八ヶ岳管理ユニットの中央部に位置し、ニホンジカの高密度生息地域であるが、近年は高い捕獲圧に伴い人への警戒心が高い個体が増加するなど、これまでの捕獲方法では捕獲頭数の確保が困難になりつつある地域である。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入 ※2：事業計画の地図がある場合は、図面添付</p>
関係機関との協力	<p>関係地方公共団体との協議や利害関係人からの意見聴取を行うとともに、実施区域内における関係機関（猟友会、土地所有者、地元区等）に対しては、事前の打ち合わせにより調整、合意形成を行った。</p>
事業の捕獲目標	<p>（ 142% ） ＝（ 71 頭 ） / （ 50 頭 ）</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※1：各種猟法の定義は○ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部（尾を採取し提出）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真（右側胴体にペンキで通し番号記入し表示板を合わせて撮影）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>※複数チェック可。</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p>

	<input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	わなによる錯誤捕獲について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：カモシカ等の捕獲時に速やかに放獣できるよう体制を整備） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	関係機関と安全確保について十分に協議し、必要な手続きを行うとともに、捕獲の実施の周知を徹底するとともに、一般者の立ち入りがないよう、監視人の配置などの十分な体制で実施した。
捕獲従事者の体制	【雇用体制】 捕獲従事者数：25人 （内訳） 正規雇用者：23人、期間雇用者：2人　うち日当制：21人

3. 令和5年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	評価：目標捕獲数 50 頭に対し、71 頭を捕獲した。達成率は 142%であり、目標捕獲数を達成した。
	改善点：センサーカメラによる撮影から、ニホンジカの活動が限定的になる時期があることが確認されたため、季節的な周辺環境の変化や繁殖行動パターンに応じて、ワナの設置場所を変える必要がある。
【実施期間】	評価：7月下旬より捕獲を実施し、8月中旬までニホンジカの活動が活発なため、効率的な捕獲につなげることが出来た。8月下旬から9月中旬は移動が限定的になり、捕獲数が低迷した。
	改善点：8月中旬までに捕獲を確実に実施するとともに、ニホンジカの動きが鈍化する期間については、カメラ撮影によりシカの行動を確認した上で、ワナを移動・再設置する必要がある。
【実施区域】	評価：令和元年度糞粒法調査において高密度生息地であり、これまで捕獲が進んでいなかった高標高地において、捕獲を実施した。実施区域は適当と考える。
	改善点：実施区域の中で、より効率的な捕獲場所を検討する必要がある。
【捕獲手法】	評価：センサーカメラによる動画撮影により、シカの行動を確認しながらくくりワナの移動・再設置を行い、効率的な捕獲を行うことができた。またカメラ動画を地元捕獲者と共有し、シカの行動に応じた捕獲技術を移転するとともに、捕獲意欲の向上につなげることができた。
	改善点：センサーカメラを用いてシカの行動を踏まえたワナの効率的な捕獲技術の向上を引き続き図っていく必要がある。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：適切
	改善点：
【個体処分】	評価：適切
	改善点：
【環境配慮】	評価：適切
	改善点：
【安全管理】	評価：適切
	改善点：
3. その他の事項に関する評価及び改善点	

特になし

4. 全体評価
本事業では、くくりわな付近に設置したセンサーカメラの撮影動画からシカの行動を確認し、これを踏まえ、くくりわなを移動・再設置する等の効率的な捕獲を行うことができた。当技術を適切に活用することで、地元捕獲者の捕獲技術の向上につながり、わなによる捕獲が進むと考えられる。

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

本事業で実施した新たな捕獲手法の検証を通して、本手法の有効性や課題などが明らかになったことから、今後、シカ捕獲の強化に寄与するものと考えられる。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input checked="" type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

作成できる概況図（地図）※についてチェック	
捕獲位置の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input checked="" type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input checked="" type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： 人日

事前調査人日数概数※2： 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 人日

項目	令和 年 (事業年度の値)	令和 年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	- 人日	- 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1：485 人日

事前調査人日数概数※2：109 人日

出猟（捕獲作業）人日数：376 人日

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	7440 基日	1320 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和元年 (事業年度の値)	平成30年 (事業年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	-頭	-頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	-頭	-頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	-	-	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	-	-	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和 年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 ^{※1}	CPUE ^{※2}	SPUE ^{※3}
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和5年度 (事業年度の値)	令和4年度 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	71 頭	23 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
② 雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	0.42 (30 頭/71 頭)	0.43 (10 頭/23 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③ 幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(わな)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	71 頭	7,440 基日	0.010 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数: 71 人・時間

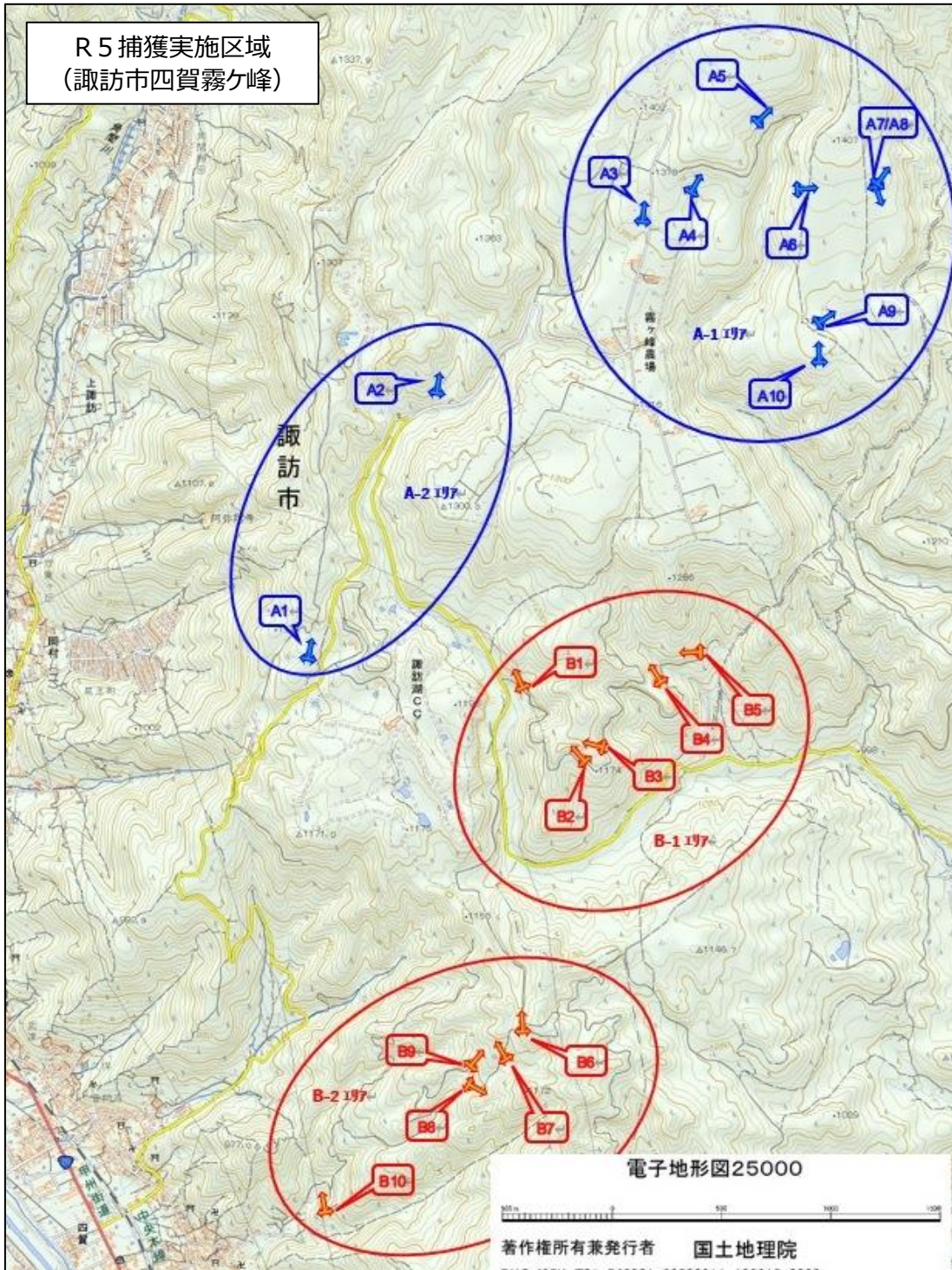
処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数: 61 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

写真、証拠物(尾)

捕獲手法は、地域により様々なものが想定されることから、下記の定義は本評価シートでの暫定的なものです。

誘引狙撃	餌等により、対象種を誘引し、所定の位置から銃器により捕獲等する猟法。
巻き狩り	犬や勢子により追い出した対象種を、所定の位置で待機する射手が銃器で捕獲等する猟法。
忍び猟	単独の射手が徒歩で対象種を追跡して、射撃可能な地点で銃器により捕獲等する猟法。
車両を用いたモバイルカリング	所定の巡回ルートを車両で移動し、射撃可能な位置の対象種を銃器により捕獲等する猟法。
夜間銃猟	法律上必要な手続を全て完了した上で、日出前若しくは日没後において銃器を使用した鳥獣の捕獲等。



捕獲実績数 計 71 頭 (A 地区 39 頭) (B 地区 32 頭)